

# 昨年度までの取組み

---



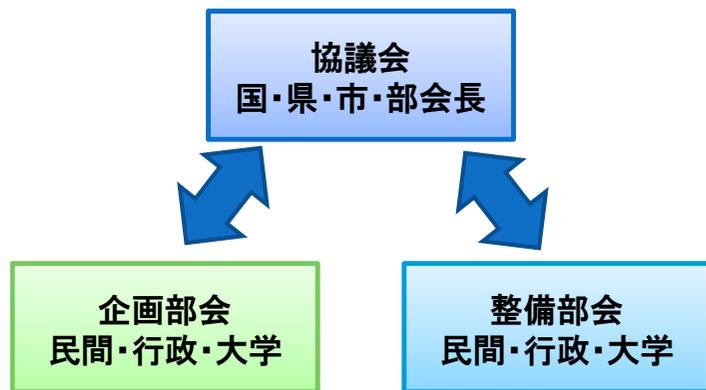
# 1. 日南海岸サイクルツーリズム協議会の概要

- 日南海岸サイクルツーリズムによる賑わいの創出を目的とし、『日南海岸サイクルツーリズム協議会』を設立
- 本協議会には、作業部会として**企画部会**、**整備部会**を設置
- イベント企画や施設整備の実施により、**自転車愛好家や観光客の増加**、**自転車の利便性向上**、**更に地域交流による賑わい創出**を図る
- これまでに協議会を2回、企画部会を3回、整備部会を2回実施

## 日南海岸サイクルツーリズム協議会の目的

- 国道220号、448号を基軸に、両線に接続する県道、市道も一体的に**日南海岸サイクリングロード(サイクルツーリズム)**として**位置づけ**を行う
- 日南海岸サイクルツーリズムに伴う**企画及び環境整備**を行う
- 年間を通して日々利用しやすい**サイクリング環境**を提供する

## 日南海岸サイクルツーリズム協議会組織構成



▲協議会構成図

宮崎市、日南市、串間市、宮崎県、  
国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所  
宮崎大学  
日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会  
道の駅なんごう、道の駅フェニックス  
宮崎県サイクリング協会  
宮崎市サイクリング協会、日南市サイクリング協会  
串間市サイクリング協会  
宮崎商工会議所、日南商工会議所、串間商工会議所  
宮崎市観光協会、日南市観光協会、串間市観光協会  
宮崎県警察本部

## 日南海岸サイクルツーリズム協議会のこれまで

- これまでに協議会を2回、企画部会を3回、整備部会を2回実施
- 下記内容を議論  
 企画部会: **サイクリングルート**  
 整備部会: **自転車走行空間整備、自転車環境サポート整備**  
 協議会: **日南海岸サイクルツーリズム構想(案)**
- 本日、第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会を実施

▼これまでの内容について

開催日	協議会内容
H27年10月30日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 ・協議会設置について ・自転車関連施策の現状 ・近年の県南地域における取組事例 ・今後の取組について
H28年1月15日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
H28年2月1日	第1回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会
H28年2月23日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 ・日南海岸サイクルツーリズム構想(案) ・次年度の取組について ・「寄ってねポイント(休憩スポット)」の提案
<b>H28年11月6日</b>	<b>社会実験開始(H29年3月19日まで)</b>
H28年11月22日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
H29年1月17日	第3回日南海岸サイクルツーリズム協議会 企画部会
H29年2月17日	第2回日南海岸サイクルツーリズム協議会 整備部会

# 2. H27年度の取組み

## 2-1. 企画部会

- 企画部会では「日南海岸サイクルツーリズム構想」の骨子及びソフト施策について議論
- 日南海岸における「魅力スポット」と「サイクリングコース」に関する意見やサイクリストのレベルや魅力スポットの周回、対象路線、エリア特色等5つの視点からサイクリングルート(案)を12ルート設定
- サイクリストの魅力向上策について「ハード施策」「ソフト施策」毎に検討

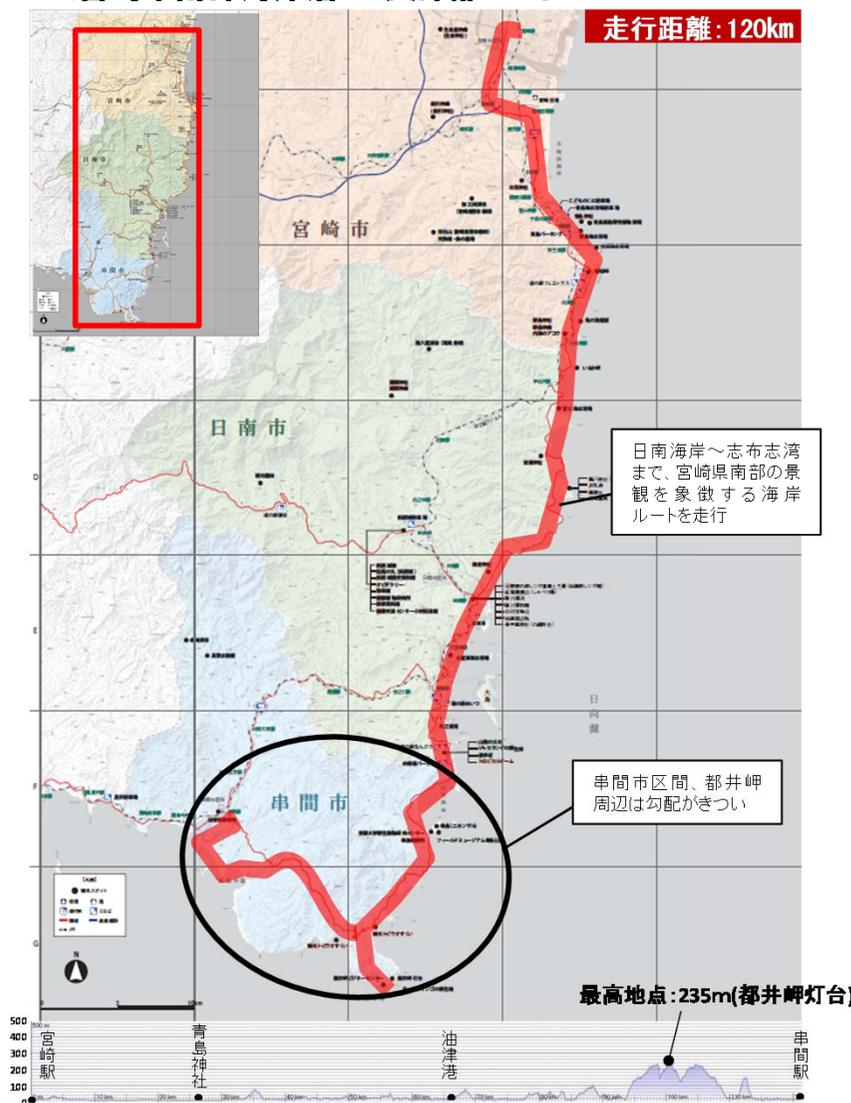


### 企画部会 議事

1. 検討の進め方
2. 目指す将来像
3. サイクリングルート
4. 取組み内容
5. 今後の計画



### 1. 宮崎市南部海岸沿い・長距離ルート



No.	ルート名	走行距離	レベル
1	宮崎市南部海岸沿い・長距離ルート	120km	上級
2	宮崎駅～いるか岬ルート	①29km ②27km	中級
3	青島・堀切峠・ポタリング向けルート	15km	初級
4	鵜戸神宮周辺ルート	30km	中級
5	飫肥城周辺歴史散策ルート	①23km ②20km	中級
6	季節限定、神楽探訪ルート	24km	中級
7	南郷川流域をゆったり走るコース	13km	初級
8	景勝地を巡る南郷・海岸沿いルート	8km	初級
9	上級者向けヒルクライムルート	28km	上級
10	串間市の観光メッカ・都井岬周遊ルート	25km	中級
11	本城干潟ポタリングルート	15km	初級
12	福島川・水路橋・赤池溪谷ルート	17km	中級

# 2. H27年度の取組み

## 2-2. 整備部会

- 整備部会では自転車走行に関する**ハード施策**について議論
- ガイドラインの考え方を参考に、日南海岸における整備の考え方を検討し、**交通状況・道路状況を踏まえた整備形態を選定**
- また、自転車走行へのサポート環境整備として案内表示や休憩施設の先進事例を提示



### 整備部会 議事

1. 検討の進め方
2. 企画部会での協議結果確認
3. 自転車走行環境に関する取組み
4. 自転車走行へのサポート環境
5. 今後の予定
6. その他

### ①現状

交通状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>速度</b>：市街地部は40km/h以下と速度が低く、郊外部は40km/h以上と高い</li><li>・ <b>自動車交通量</b>：国道は4000台/日以上との区間が多い</li></ul>
道路状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>路肩幅員、自歩道幅員が狭い区間が多い</b></li></ul>
自転車通行空間	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>未整備</b><ul style="list-style-type: none"><li>1 連続的なブルーライン設置(コース、主要地までの距離等を明示)</li><li>2 快適な自転車走行のための段差解消</li><li>3 走りやすい自転車用道路への改良(自転車通行幅員の確保)</li><li>4 自転車専用道路の整備(自動車、歩行者との分離)</li></ul></li></ul> <p style="text-align: right;">【企画部会委員意見(再掲)】</p>

※上記は国道220号を代表例として記載

### ②課題

- ガイドラインに基づき、自転車通行空間を早期整備する場合の課題
- **交通状況、道路状況より、「自転車道」「自転車専用通行帯」で整備する区間が存在**
  - **路肩幅員、自歩道幅員が狭く、既存道路用地内での道路空間再配分や道路拡幅による「自転車道」、「自転車専用通行帯」の早期整備は困難**

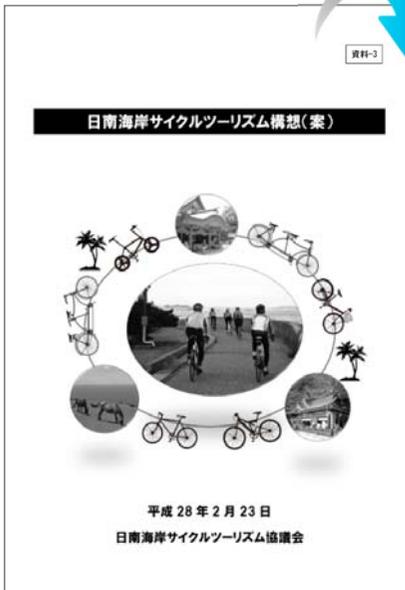
### ③対応

- 上記課題を踏まえた整備形態の考え方検討が必要
- **安全面等に配慮した場合、整備形態の考え方はガイドラインと同一が望ましい**
  - **早期整備に向けた当面の対応\***は既存道路用地内で対応可能な「**車道混在**」が現実的
  - **その場合、日南海岸における「車道混在」の考え方が必要**

※東九州道開通による整備効果が発現するまで

# 2. H27年度の取組み

## 2-3. 協議会



▲協議会の様子(H28.2.23)

### 日南海岸サイクルツーリズム構想(案)構成図

**第1章 はじめに** ①**策定の意義**: 広域のかつ総合的な観点から重点的に取組むべき対応方針を明確化した構想を策定  
②**対象エリア**: 日南海岸を縦走する国道220号、448号を基軸に、両線に接続する県道、市道等も含む

### 第2章 日南海岸の現状と課題

#### 第1節 日南海岸が有する多様な地域資源

- ①**南国宮崎を象徴する自然豊かな景観資源**
- 日南海岸は鬼の洗濯岩、堀切岬、いるか岬、都井岬などの著名な景勝地で形成
  - 青島、御崎馬は国の天然記念物が存在
  - フェニックスなどの亜熱帯植物の宝庫
  - ハイビスカスなどの鮮やかな花々が多数生息
  - 道路は日南フェニックスロードの愛称で親しまれ、日南海岸きらめきラインとして日本風景街道に登録

#### ② 神話をはじめとした歴史文化が醸成した個性的な観光資源

- 青島神社、鶴戸神社をはじめとする有名な歴史文化資源が点在
- 鉄肥城跡周辺や堀川運河、杉村金物本店、旧軽便鉄道など歴史的魅力の高い資源も存在
- 道の駅「なんごう」「酒谷」「フェニックス」、港の駅「めいつ」も個性ある観光資源

#### 第2節 サイクルツーリズムの気運の高まり

- ①**国内におけるサイクルツーリズムの普及**
- 瀬戸内しまなみ海道や宇都宮市の「ジャパンカップ」など先進地域では取組拡大
  - サイクリングと観光を結び付けた地域振興の新たな取組の普及拡大

- ②**日南海岸におけるサイクリング利用拡大の兆し**
- 需要拡大への地域の機運の高まり
  - 近年継続開催するイベントを通じた参加者と地域の交流や地域の一体的な取組によるにぎわい創出、ポタリング等実施への動き
  - クルーズ船寄港によるインバウンド観光における将来的な活用可能性への期待やサイクルトレインなど利便性向上への多様な機関と連携した取組

**課題**

- 国内外のサイクリストへ情報発信不足
- サイクリスト受入体制づくりへの方向転換

### 第3章 目指す将来像

#### 第1節 日南海岸サイクルツーリズムの実現に向けた基本理念

⇒サイクルツーリズムにおける地域ブランドを確立して日南海岸の賑わい創出を図る

#### 第3節 将来像を描く計画期間

今後概ね10年間

#### 第2節 目指す将来像

- |                                      |                         |
|--------------------------------------|-------------------------|
| ① <b>明確化された自転車走行空間と確立された走行サポート環境</b> | 魅力あるサイクリングロードのある地域      |
| ② <b>サイクリスト増加による新たな需要拡大</b>          | サイクリスト来訪による新たに需要が拡大する地域 |
| ③ <b>魅力再発見による新たな観光スタイル創出</b>         | 何度も訪れたくなる魅力ある地域         |

### 第4章 基本的な対応方針

#### 第1節 日南海岸の多様な地域資源を有機的に結びつけたサイクリングルートの提供(5つの視点)

- |                     |                       |                          |                          |                        |
|---------------------|-----------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| ① <b>レベルを考慮</b>     | ② <b>魅力スポットをつなぐ</b>   | ③ <b>全路線が候補</b>          | ④ <b>エリア特色を反映</b>        | ⑤ <b>安全性・快適性</b>       |
| 上級者、中級者、初級者の3レベルを考慮 | 発着地を鉄道駅や港とし、魅力スポットを周遊 | 国道220号を基軸に、県道、市道など全路線を候補 | 日南海岸の特色を感じ、魅力を満喫してもらえる内容 | 特殊部は迂回路を設定し、安全性と快適性に配慮 |

#### 第2節 日南海岸サイクルツーリズムを支える広域のかつ総合的な取組の推進

- |   |   |
|---|---|
| ① <b>日南海岸の実情に応じた自転車走行空間の整備</b>  | ④ <b>地域交流による憩いやつろぎサービスの提供</b>                         |
| 既存道路用地を活かした整備推進<br>走行環境を向上させる新技術の活用推進                                     | 国内外サイクリストが憩い、くつろぐことができる場づくり<br>“おもてなし”サービスに関する情報発信の促進 |
| ② <b>サイクリストのニーズに配慮したサポート環境の拡充</b>   | ⑤ <b>サイクルイベントの充実・拡大による交流の促進</b>                       |
| 様々なシーンを想定したサポート環境の整備推進<br>サイクリングロードを案内・誘導するサイン整備推進                        | 既存大会の運営促進及びイベント開催の波及効果を効果的に取り込むような地域の一体的な取組推進         |
| ③ <b>サイクリストの利便性を高める取組の推進</b>  | ⑥ <b>サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた地域振興の新たな取組</b>                |
| 多様な媒体で有益情報を発信する仕組みや気軽に自転車に乗入れられる利便性の高い地域づくり促進<br>初心者から上級者まで気軽にサイクルできる取組促進 | 官民一体となった新たな取組や地域とサイクリストの交流の橋渡しを担う人材育成の促進              |

### 第5章 構想の実現に向けて

・短中長期な視点で多様な主体と連携した効率的かつ重点的な取組推進



## 協議会 議事

1. 日南海岸サイクルツーリズム構想(案)について
2. 次年度の取組みについて
3. 「寄ってねポイント(休憩スポット)」の提案について
4. その他



日南海岸沿線における自転車観光の構想(案)

日南海岸沿線を自転車で走りながら、地域の**風景、歴史、食、文化、人**に触れ、五感で満足・楽しむ自転車での観光を推進します。



## 2. H27年度の取組み

### 今後の主な検討事項

- H27年度は、『日南海岸サイクルツーリズム構想(案)』の具体化に向け、今後の主な検討事項を決定
- H28年度は、H27年度に決定した検討事項の内容について、各部会で議論 ※詳細内容は各資料で説明

取組み内容		今後の主な検討事項(イメージ)	H28年度検討内容
(1)サイクリングロード【企画部会】 ※構想(案)第4章第1節に対応		●サイクリングロードの詳細検討	●地区別にグループワーキングを行い詳細検討 資料-4
(2)ハード 施策 【整備部会】	1)日南海岸の実情に応じた 自転車走行空間の整備 ※構想(案)第4章第2節①に対応	●日南海岸における整備の考え方の検討 ●車道混在の場合の整備手法の検討 ●快適な自転車走行のための段差解消策の検討等	●ガイドライン改定内容紹介 ●今後の整備検討手順(案)の提案 資料-5
	2)サイクリストのニーズに配慮した サポート環境の拡充 ※構想(案)第4章第2節②に対応	●案内誘導サインの設置検討 ⇒「コース案内サイン」「通行方法案内サイン」「休憩スポット案内サイン」について設置間隔、情報内容等について詳細検討 ●適切な間隔での休憩施設確保に関する検討 ⇒設置間隔、対象施設、統一ルール、取組み体制等を検討 等	●案内サイン、休憩施設確保などサポート環境設置に関する社会実験を実施 資料-6
(3)ソフト 施策 【企画部会】	1)サイクリストの利便性を高める取組の 推進 ※構想(案)第4章第2節③に対応	●サイクリングマップ作成 ●多様な利用者へのサイクリング及び休憩施設等に関する情報発信検討 ●イベント開催へ向けた検討 ●日南海岸へサイクリストを呼び込む仕掛けづくり ●サイクリスト受け入れ意識等の醸成 等	●社会実験実施に合わせ、モニターツアーイベントや情報発信等の実施 資料-6
	2)地域交流による憩いやくつろぎサービスの提供 ※構想(案)第4章第2節④に対応		
	3)サイクルイベントの充実・拡大による 交流の促進 ※構想(案)第4章第2節⑤に対応		
	4)サイクルツーリズムの普及・拡大を通じた 地域振興の新たな展開 ※構想(案)第4章第2節⑥に対応		
(4)今後の進め方【企画部会・整備部会】		●取組みや整備に関する優先順位検討 等	●今後の取組み検討 資料-7

※構想(案)はP.4日南海岸サイクルツーリズム構想(案)の構成図を参照

第2回協議会(H28.2.23)資料5より一部修正